

令和6年度事務事業評価（令和5年度事後評価）

経済部

所属名	事務事業名	
中心市街地振興室	中央大通り再生計画推進事業	2
中心市街地振興室	街なか出店伴走支援事業	3
中心市街地振興室	えびすを活かした中心市街地賑わい創出事業	4
中心市街地振興室	銀天夜市開催支援事業	5
中心市街地振興室	バルーンフェスタ・サテライト事業	6
中心市街地振興室	佐賀城下ひなまつり関連商店街活性化事業	7
中心市街地振興室	タウンマネジメント事業推進支援事業	8
中心市街地振興室	戦略的商機能等集積支援事業	9
中心市街地振興室	中心市街地機能複合化推進事業	10
中心市街地振興室	中心市街地フィジカル型スマート店舗支援事業	11
中心市街地振興室	ライトファンタジー事業	12
中心市街地振興室	まちづくり支援事業	13
中心市街地振興室	中心市街地通行量調査経費	14
中心市街地振興室	街なか来訪者等動向調査経費	15
中心市街地振興室	デジタル技術を活用した街なかブランディング事業	16
中心市街地振興室	街なかリーディング促進事業	17
中心市街地振興室	街なか交流広場管理事業	18
中心市街地振興室	街なか再生計画推進事業	19
中心市街地振興室	街なかふれあいプラザ管理運営事業	20
中心市街地振興室	文化交流プラザ管理運営事業	21
中心市街地振興室	佐賀商工ビル転貸フロア等管理運営事業	22

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	中央大通り再生計画推進事業	事業期間	平成 27 ~ 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 戦略係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	街なか再生の基盤整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	令和3年度に策定した中央大通り沿線の将来像や土地利用方針の実現に向けて、民間投資の各フェーズに対応できる「佐賀モデルのパッケージ型・民間投資喚起策」を運用するとともに、中央大通りに関する民間主体のイベント等の開催支援を行い、中心市街地の活性化を図る。				
事業の対象者	市民、来街者等				
令和5年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・民間投資喚起策 [潜在期] 中央大通り土地利用アドバイザー支援事業：支援実績3件 [計画期] 中央大通り土地利用プランニング支援事業：補助実績1件 [整備期] 中央大通り土地利用リニューアル支援事業：認定実績1件 [運営期] 中央大通り「さがすたいる」推進事業：補助実績5件 ・土地利用促進プロモーション事業（デジタルサイネージ・SNS広告等を活用したプロモーション） ・中央大通り賑わい創出活動支援事業（開催イベント数：5件、イベント参加者数：1,653人） ・中央大通り拠点エリア創出プラン等策定事業（旧TOJIN茶屋跡地活用策の具体化） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	7,391	12,554	18,954	21,085	
うち佐賀市の負担額	1,396	2,277	5,436	11,440	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
賑わいあふれる中心市街地の活性化に満足している市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
28.4	29.5 31.9	31.5 33.4	33.5 34.2	35.5		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	中央大通り沿線の将来像や土地利用方針について、様々な主体の認知度・関心を高めるプロモーションを強化し、民間投資喚起策の活用実績につなげたことにより、中心市街地の賑わい創出に向けた期待値が高まり、満足度の向上につながった。



成果目標達成に向けた対応策等
中央大通り沿線の将来像や土地利用方針の実現に向けて、民間投資の各フェーズに対応できる「佐賀モデルのパッケージ型・民間投資喚起策」等の更なる制度周知を図ることにより、制度活用を促進し、中央大通りに更なる人の流れを生み出す。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	街なか出店伴走支援事業	事業期間	令和 3 ~ 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 戦略係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	魅力ある店舗・施設の整備と立地促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中心市街地の空き店舗等を活用する新規出店者を対象として、地元商店街と連携して実施する経営アドバイス会等の取組を支援することにより、経営ノウハウの習得機会等を提供し、店舗経営者の育成及び遊休不動産の活用促進を図る。				
事業の対象者	中心市街地における新規出店者				
令和5年度 主な活動実績	本事業を実施するNPO法人まちづくり機構ユマニテさがに対し、補助を行った。 ・支援実績：2店舗（R4継続：1店舗、R5新規：1店舗）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額		1,210	1,300	2,320	
うち佐賀市の負担額		710	952	1,668	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
新規出店者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
	3 1	2 1	2 1	2		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	制度の認知度不足、営業時間等の補助要件との不適合及び物件と出店希望者のミスマッチ等の要因により、目標値を下回った。

成果目標達成に向けた対応策等

実施主体と連携して広報の強化を行うとともに、活用可能な遊休不動産の掘り起こし、出店希望者の把握に努め、物件と出店希望者のマッチングを強化していく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	えびすを活かした中心市街地賑わい創出事業	事業期間	平成 12 ~ 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 再生係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内に840体以上あり、その数日本一と言われている恵比須像を活かした街づくりに向けて、開運さが恵比須ステーションの運営、恵比須巡りツアー、恵比須講座等の実施に要する経費の一部を助成し、街なかの回遊促進を図る。				
事業の対象者	市民、中心市街地内の事業者及び事業者、恵比須DEまちづくりネットワークが実施するまちづくり活動団体				
令和5年度主な活動実績	開運さが恵比須ステーションの運営、恵比須巡りツアー、恵比須講座等の実施に要する経費の一部を補助した。 ・恵比須ステーション開館日数：300日 ・恵比須ステーション来館者数：6,013人 ・恵比須巡りツアー実施回数、参加者数：18回、224人 ・恵比須講座実施回数、参加者数：11回、582人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	9,000	8,500	8,500	8,790	
うち佐賀市の負担額	9,000	8,500	8,500	8,790	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
恵比須ステーション来館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,295	2,300 2,185	3,000 7,061	3,500 6,013	4,000		

成果指標②						単位
恵比須巡りツアー・恵比須講座への参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
406	550 337	700 569	850 806	1,000		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	他団体の主催イベントとの連携により、来館者数は目標値を上回った。一方、恵比須巡りツアー・講座参加者数は、昨年度に比べ大きく増加したものの、目標値は下回った。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き、八十八ヶ所巡りや恵比須ツアーを軸にして、恵比須を活用した他団体との連携等を強化することにより、中心市街地への来街者の増加につなげていく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	銀天夜市開催支援事業	事業期間	昭和 42 ~ 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 再生係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中心市街地の振興策として、広く市民に親しまれている夏のイベント「銀天夜市」の開催に要する経費の一部を助成し、来街促進を図る。				
事業の対象者	中心市街地内の商業者及び事業者並びに市民				
令和5年度 主な活動実績	第56回銀天夜市実行委員会に補助金を交付し、補助対象者が行うイベント等の進捗管理を行った。 ・開催実績：5回 ・来場者数：延べ26,094人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	865	865	865	
うち佐賀市の負担額	0	865	865	865	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
イベント来場者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	1,000 405	4,000 13,842	5,000 26,094	6,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	令和4年度から開催日数が増加したことや、集客力の高いイベントを実施したこと等により、目標値を達成できた。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き、実施主体と連携して、広報等のイベント開催支援を行うことで、来場者数の増加を図り、中心市街地の活性化につなげる。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	バルーンフェスタ・サテライト事業	事業期間	平成 12 ~ 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 戦略係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀インターナショナルバルーンフェスタの開催に合わせて、中心市街地において、サガマチ秋遊フェス等の集客イベントの開催、シャトルバスの運行（バルーン会場・東よか干潟）、販促活動等に要する経費の一部を助成し、街なかの回遊促進を図る。				
事業の対象者	中心市街地内の事業者、バルーンフェスタ来場者等（補助対象：バルーンフェスタ・サテライト実行委員会）				
令和5年度 主な活動実績	バルーンフェスタ・サテライト実行委員会に補助金を交付し、サガマチ秋遊フェス等の集客イベントの開催、シャトルバスの運行（バルーン会場・東よか干潟）、販促活動等の取組を支援した。 ・開催期間：令和5年11月1日（水）～11月5日（日）【5日間】 ・開催場所：中心市街地（656広場、松原神社、エスプラッツ等）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	10,350	10,350	10,850	
うち佐賀市の負担額	0	10,350	10,350	10,850	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
イベント来場者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	50,000 67,247	50,000 69,347	50,000 73,415	55,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	中心市街地とバルーン会場等を巡回するシャトルバスの運行や、回遊性の高いイベントを実施したことにより、来場者数の増加につながった。

成果目標達成に向けた対応策等

ターゲットに訴求できる効果的な広報活動や、魅力的で回遊性を高められるイベント等を充実させることによって、中心市街地への来街を促進し、更なる賑わいを創出していく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀城下ひなまつり関連商店街活性化事業	事業期間	平成 15 ~ 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 再生係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀城下ひなまつりの開催に合わせて、中心市街地において、ひな飾り等の設置やサガマチグリラフェス、街なかコンサート等の集客イベントの開催に要する経費の一部を助成し、街なかの回遊促進を図る。				
事業の対象者	佐賀城下ひなまつり開催期間に中心市街地を訪れた市民・中心市街地の商業者及び事業者				
令和5年度 主な活動実績	佐賀城下ひなまつり街なか賑わいづくり実行委員会に補助金を交付し、補助対象者が行うイベント等の進捗管理を行った。 ・開催期間 令和6年2月10日（土）～3月20日（水・祝）【40日間】 ・開催場所 中心市街地（656広場、松原神社、エスプラッツ等）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,210	4,510	6,000	5,853	
うち佐賀市の負担額	5,210	4,510	6,000	5,853	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
イベント来場者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
44,398	45,000 53,062	50,000 86,233	55,000 72,999	60,000	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	骨董市が中止となったことに伴い、来場者数は減少したものの、その他、新規イベントや集客力の高いイベントを実施したことにより、目標値は上回った。



成果目標達成に向けた対応策等
イベント開催者と協議を行いながら、効果的な集客方法を検討するとともに、イベントへの自主参加を呼びかけることで、期間中の活動量を増やし、来場者の増加を図っていく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	タウンマネジメント事業推進支援事業	事業期間	平成 16 ~ 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 戦略係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	NPO法人まちづくり機構ユマニテさがの機関運営及び各種事業を支援し、中心市街地の活性化を図る。				
事業の対象者	市民、来街者等				
令和5年度 主な活動実績	NPO法人まちづくり機構ユマニテさがの機関運営及び各種事業に係る経費の一部を助成した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	18,000	21,500	19,500	19,500	
うち佐賀市の負担額	18,000	21,500	19,500	19,500	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
賑わいあふれる中心市街地の活性化に満足している市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
28.4	29.5 31.9	31.5 33.4	33.5 34.2	35.5		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	中心市街地の活性化に向けた新たな方策を企画・立案するとともに、官民連携により様々な取組を展開したことにより、満足度の向上につながった。



成果目標達成に向けた対応策等
NPO法人まちづくり機構ユマニテさがは中心市街地活性化法に規定する「中心市街地整備推進機構」として指定する唯一の団体であるため、引き続き連携しながら、中心市街地の活性化に取り組んでいく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

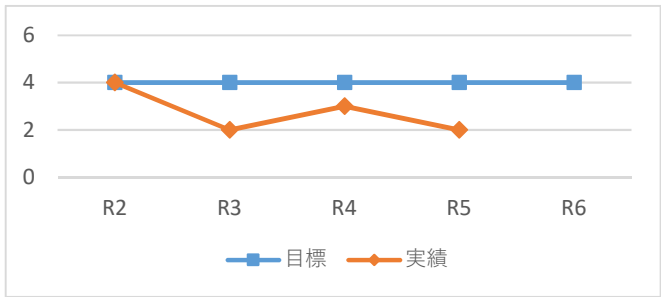
事務事業名	戦略的商機能等集積支援事業	事業期間	平成 17 ~	年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 戦略係	担当課長名	藤田 泰浩	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化		
	基本事業	魅力ある店舗・施設の整備と立地促進		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中心市街地において戦略的に商機能の集積を図るため、出店意欲のある事業者の新規参入を促進する事業に係る経費の一部を助成し、遊休不動産の活用促進を図る。				
事業の対象者	中心市街地における新規出店者				
令和5年度 主な活動実績	本事業を実施するNPO法人まちづくり機構ユマニテさがに対し補助を行った。 ・新規出店者数：2店舗				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,476	3,400	4,500	3,385	
うち佐賀市の負担額	2,838	2,400	3,500	2,885	

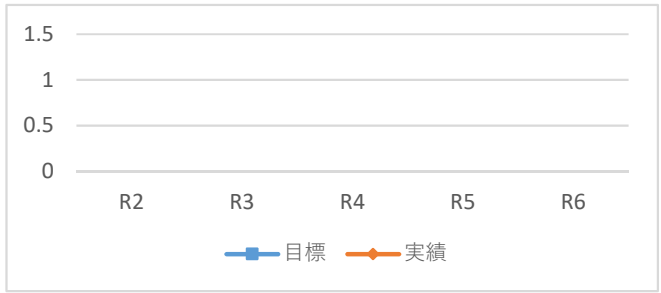
2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
新規出店者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
4	4 2	4 3	4 2	4		



Year	Target	Actual
R2	4	4
R3	4	2
R4	4	3
R5	4	2
R6	4	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



Year	Target	Actual
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	出店に関する相談件数は一定数あったが、営業時間等の補助要件との不適合や物件と出店希望者のミスマッチ等の要因により、目標値を下回った。



成果目標達成に向けた対応策等
活用可能な遊休不動産の掘り起こしや、出店希望者の把握に努め、物件と出店希望者のマッチングを強化するとともに、補助要件等もニーズに応じて見直ししながら、4核構想エリア及び中央大通りエリアにおいて、重点的に商機能の集積を図っていく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	中心市街地機能複合化推進事業	事業期間	令和 3 ~ 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 戦略係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	魅力ある店舗・施設の整備と立地促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中心市街地において商業だけでなく働く場としての機能を付加するため、オフィス機能の整備費の一部を助成し、遊休不動産の活用促進を図る。				
事業の対象者	事業者等				
令和5年度 主な活動実績	中心市街地において遊休不動産を活用したオフィス機能の整備事業に対し、補助を行った。 ・補助実績：1件				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	-	18	9,000	4,000	
うち佐賀市の負担額	-	18	9,000	4,000	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
新規開業件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	1 -	1 2	1 1	1		

成果指標②						単位
オフィス機能整備面積（累計）						m ²
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	100 -	200 177	300 206	400		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	中心市街地におけるオフィス整備のニーズと遊休不動産のマッチングを図ることができたため、オフィス機能整備面積は目標値に達しなかったものの、新規開業件数は目標を達成した。



成果目標達成に向けた対応策等
事業者ニーズの把握と、活用可能な遊休不動産の掘り起こしに努め、商機能の集積との相乗効果により、街なかへの人の流れを創出する。

令和6年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	中心市街地デジタル型スマート店舗支援事業	事業期間	令和 5 ~ 令和 5 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 戦略係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画に おける位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要	中心市街地においてデジタル技術を活用した新たな対面型店舗モデルを創出するため、デジタル型スマート店舗（実店舗における対面サービスとデジタル技術活用の両方の利点を生かしたサービスを提供する店舗）の整備費の一部を助成し、中心市街地の活性化を図った。				
事業の対象者	事業者等				
根拠法令等	佐賀市中心市街地デジタル型スマート店舗支援事業補助金交付要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	—	—	—	5,000	
うち佐賀市の負担額	—	—	—	5,000	

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
整備店舗件数					件
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
—	—	—	1		

活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

デジタル型スマート店舗の整備を支援することで、中心市街地において、実店舗におけるデジタル技術を活用した新たな顧客体験を提供することができ、中心市街地の賑わい創出に効果があったと考える。今後は整備店舗をロールモデルとして、他事業者が横展開していくことで、中心市街地の魅力向上については中心市街地の活性化につながることを期待できる。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	ライトファンタジー事業	事業期間	平成 元 ~ 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 再生係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中心市街地の活性化に寄与することを目的としたサガ・ライトファンタジー事業の実施に対し補助を行い、来街促進を図る。				
事業の対象者	来街者等				
令和5年度 主な活動実績	シンボルロード約1.6kmを中心にスポット電飾、街路樹電飾、沿線店舗による自主電飾、市民による電飾等の取組及び街なかの回遊性を高めるイベントの実施に対して支援を行った。また、佐賀インターナショナルバルーンフェスタの前夜祭として、ライトファンタジーパレードや中央大通りでのストリートイベントが開催された。 ・開催期間：令和5年10月31日（火）～令和6年1月14日（日）【76日間】				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	30,000	30,000	35,000	35,000	
うち佐賀市の負担額	30,000	30,000	35,000	35,000	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
来街者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
29,752	30,000 38,020	35,000 74,912	35,000 77,340	40,000	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	パレードやストリートパーティが実施されたことや、街路樹等のイルミネーションの設置方法を工夫し、来街者の確保に努めたことから、目標値を大きく上回った。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き、サガ・ライトファンタジー実行委員会と連携し、担い手を増やすとともに魅力ある装飾を実施する。佐賀駅佐賀城口（南口）から中央大通りへの誘客、散策促進を図るため、街路樹電飾の効果的な設置を行う。また、電飾の統一感がとれるよう設置し、中心市街地の活性化に貢献する。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	まちづくり支援事業	事業期間	平成 18 ~	年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 再生係	担当課長名	藤田 泰浩	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化		
	基本事業	賑わい創出の支援		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	街なかを歩くきっかけづくりのためのイベント支援を実施し、中心市街地の活性化を図る。				
事業の対象者	市民				
令和5年度 主な活動実績	中心市街地で行われる様々なイベントに対し、広報等で支援することにより、中心市街地の活性化を図った。 ・広報番組佐賀シティビジョン「街なか通信」を毎月1回放送し、各回1~2団体を紹介				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,481	2,626	4,062	3,432	
うち佐賀市の負担額	2,481	2,626	4,062	3,432	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
イベント等支援件数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
31	35 36	40 31	45 17	50		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	「街なか通信」においてはR5年度より、放送回数を月2から月1回に変更したことにより、支援件数としての目標値を下回った。



成果目標達成に向けた対応策等
「街なか通信」の放送内容を工夫するとともに、SNS等を活用し、NPO法人まちづくり機構ユマニテさが等と連携を図るとともに、中心市街地各所でまちづくりを行う者の情報発信等の機会を増やすことで支援を行う。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	中心市街地通行量調査経費	事業期間	平成 17 ~	年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 戦略係	担当課長名	藤田 泰浩	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化		
	基本事業	賑わい創出の支援		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中心市街地活性化事業の効果測定のため、中心市街地における歩行者通行量調査を実施する。				
事業の対象者	市民、来街者等				
令和5年度 主な活動実績	中心市街地において歩行者等の通行量調査を実施した。 ・調査期間：令和5年10月12日（木）～10月15日（日） [4日間] ・調査地点：中心市街地の14か所				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,126	1,392	714	690	
うち佐賀市の負担額	1,126	1,392	714	690	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
主要商店街通行量					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
46,780	85,000 51,607	90,000 52,168	95,000 67,248	100,000	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	来街促進策の効果として通行量は増加を続けているが、人口減少等の要因により、目標値までは至らなかった。



成果目標達成に向けた対応策等
本事業の調査結果を基に、中心市街地活性化事業の効果検証を行い、来街促進に向けて、より効果的な方策を企画・立案し、実施していく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	街なか来訪者等動向調査経費	事業期間	令和 元 ~	年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 戦略係	担当課長名	藤田 泰浩	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化		
	基本事業	賑わい創出の支援		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	街なかの店舗情報等を掲載したWEBサイト（サガマチ・ランデブー）を構築・運用し、来街者向けのWEBアンケート調査や街なかクーポン事業を実施し、街なか回遊と消費行動の促進を図る。また、中心市街地にWi-Fiセンサーを設置し、デジタル技術を活用して来街者の回遊状況を調査する。				
事業の対象者	市民、来街者等				
令和5年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・WEBサイト「サガマチ・ランデブー」において、来街者アンケート調査や街なかクーポン事業を実施した。会員登録者数：5,679人、WEBサイト閲覧者数：43,347人、WEBアンケート回答者数：1,075人、街なかクーポン利用数：2,938件、WEBサイト掲載店舗数：143店舗 ・常時稼働のWi-Fiセンサーにより、来街者の回遊状況（推計通行者数、滞在時間の傾向等）を調査した。調査期間：令和5年9月1日（金）～令和6年1月31日（水）、調査地点：9か所 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,440	8,827	11,342	10,993	
うち佐賀市の負担額	1,850	4,904	6,540	5,906	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
WEBサイト閲覧者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
9,313	11,500 21,958	13,000 28,964	14,000 43,347	15,000	

成果指標②					単位
主要商店街通行量					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
46,780	85,000 51,607	90,000 52,168	95,000 67,248	100,000	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	街なかリーディング促進事業との連携により、WEBサイト閲覧者数は目標を達成した。また、主要商店街通行量は目標値に到達しなかったものの、前年度より増加した。



成果目標達成に向けた対応策等
中心市街地の人流データを各種データ等と組み合わせて分析することにより、来街者が複数拠点（店舗、スポット等）を回遊する仕組みを充実させるとともに、街なかの店舗に分析データを還元して経営に活用してもらうことで、来街者ニーズに適應できる機会を創出し、街なかの魅力を引き上げ、来街と回遊・消費行動を一層促進していく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	デジタル技術を活用した街なかブランディング事業	事業期間	令和 2 ~ 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 戦略係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	街なか再生の基盤整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	デジタル技術を活用しながら、来街者のニーズに適応し、多様な人の流れ（回遊・消費行動）を創出する「スマート街なか」の実現に向けて、令和4年度に策定した「SAGAスマート街なかアクションプログラム」に基づき、官民等が共創しながら様々なモデルケースの創出等を行う。				
事業の対象者	市民、来街者等				
令和5年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆多機能型情報メディア等の運用等 <ul style="list-style-type: none"> ・中央大通り沿線と佐賀駅バスセンターに設置した多機能型情報メディア等を使い、街なかの店舗やイベントの情報発信やAIカメラ・環境センサーによる人流・環境データの取得を行った。（メディア設置箇所：中央大通り沿線（3基）、佐賀駅バスセンター（3基）） ◆多機能型情報メディア等デジタル技術を活用したモデルケース創出 <ul style="list-style-type: none"> ・多機能型情報メディア、データ連携基盤等を活用し、中心市街地の活性化につながる官民連携型の実証モデルの募集や広告媒体としての利活用モデルの創出を行った（実証モデルの採択：3件、広告掲載：5件）。 ・多機能型情報メディアのセンサーで取得した人流・環境データと企業が保有するビッグデータとを組み合わせ、事業者向けのレポートを作成・配信した（発行回数：4回、配信事業所数：148か所）。 ・街なか事業者を対象に、マーケティングに役立つデータ活用を考えるワークショップや最新技術を学ぶイベントを開催した（実施回数：3回。参加者数：延べ86人）。 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	26,857	32,893	19,998	
うち佐賀市の負担額	0	13,029	16,447	7,813	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
賑わいあふれる中心市街地の活性化に満足している市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
28.4	29.5 31.9	31.5 33.4	33.5 34.2	35.5		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	多機能型情報メディア等を活用した街なか情報配信、事業者向けワークショップの開催等により、市民や事業者の街なかに対する興味・関心を高めるとともに、デジタル技術活用の有用性を認識してもらったことで、中心市街地の賑わい創出に向けた期待値が高まり、満足度の向上につながった。



成果目標達成に向けた対応策等
デジタル技術を活用した取組は、街なかへの多様な人の流れを創出する上で、実情に応じた最適解を導き出す有効な手段となり得る。今後は、官民連携実証事業を通して、来街者と街なかの事業者双方にとって有益な活用策を見出し、実施するとともに、取得・蓄積したデータや適応策等を引き続き中心市街地の事業者等に還元し、経営に活用してもらうことで、中心市街地全体の波及効果につなげていく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	街なかリーディング促進事業	事業期間	令和 5 ~ 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	SAGAアリーナのオープンにより、南北軸を中心に新たな人の流れが生まれていることから、アリーナ来訪者の街なかにおける回遊・消費行動を促進することによって、人の流れを「消費」という経済効果に転換し、地域経済の活性化を図る。				
事業の対象者	市民、来街者等				
令和5年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> デジタルサイネージ活用事業 佐賀駅周辺のデジタルサイネージを活用し、情報発信事業を実施した。 【制作本数：18本、配信場所3か所（佐賀駅構内、佐賀駅前交流広場、佐賀駅バスセンター）】 共通駐車券購入支援事業 協力店舗に対しての共通駐車サービス券の購入支援及び「街なか指定駐車場無料デー」を実施した。 【共通駐車サービス券の購入支援 支援店舗数：35店舗、支援総額：978,000円】 【街なか指定駐車場無料デー 実施回数：6回、利用台数：572台、利用者数：1,147人】 サンライズストリート人流データ調査事業 サンライズストリート（市道三溝線）に常時稼働のWi-Fiセンサーを設置し、来街者の回遊状況を調査した。 【調査期間：令和5年10月1日（日）～令和6年1月31日（水）、調査地点：2か所】 タイアップイベント開催等事業 街なか店舗等と連携・協力を図り、SAGAアリーナイベント等とタイアップした事業を実施した。 【イベント実施回数：3回、来場者数：4,876人、街なか装飾期間：令和6年1月6日（土）～14日（日）】 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	－	－	－	18,236	
うち佐賀市の負担額	－	－	－	18,236	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
賑わいあふれる中心市街地の活性化に満足している市民の割合						%
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	
－	－	－	33.5	35.5		
			34.2			

成果指標②						単位
						人
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和5年度は基準値となるため、令和6年度の実績結果から記載

成果目標達成に向けた対応策等

SAGAアリーナ指定管理者との情報連携を図りながら、SAGAアリーナ来訪者のイベントごとの属性（ターゲット）によって、広報やリーディングイベントの戦略等を検討していく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	街なか交流広場管理事業	事業期間	平成 22 ~ 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 再生係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	街なか再生の基盤整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	街なか交流広場の管理を行い、中心市街地の活性化を図る。				
事業の対象者	来街者等				
令和5年度 主な活動実績	街なか交流広場の適正な管理を行うとともに、人々に憩いと交流の場を提供することにより、中心市街地の活性化を図った。 ・催事数：234回 ・利用者数：36,225人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,768	3,021	3,427	3,393	
うち佐賀市の負担額	3,768	3,021	3,427	3,393	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
街なか交流広場利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
12,797	13,000 15,391	25,000 26,671	30,000 36,225	35,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	利用促進広報及びイベント情報の発信を行い、新規イベントや集客力の高いイベントを実施したことにより、利用者数の増加につなげることができた。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き、指定管理者と連携し、利用者の意見の反映や設備改修等を実施しながら、利便性の向上を図り、利用者の増加につなげていく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

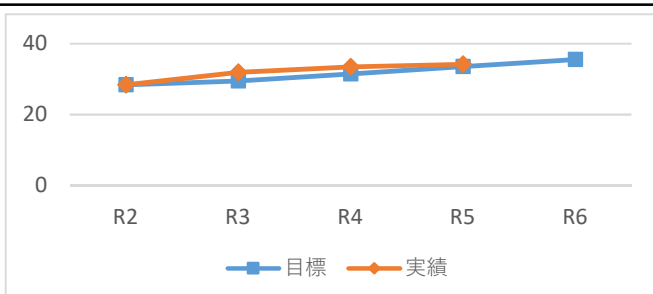
事務事業名	街なか再生計画推進事業	事業期間	平成 23 ~	年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 戦略係	担当課長名	藤田 泰浩	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化		
	基本事業	街なか再生の基盤整備		

1 事務事業の基本情報

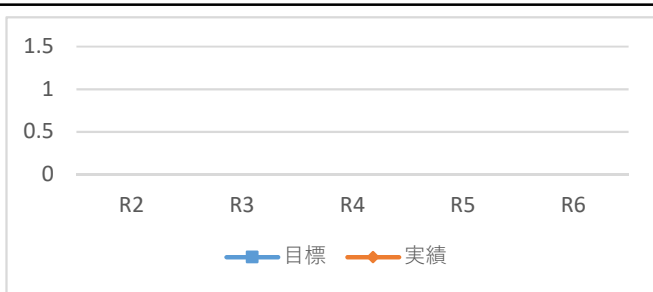
事業概要・目的	佐賀市街なか再生計画（平成22年度策定）に基づき、エスプラッツ、佐賀玉屋、佐嘉神社・徴古館、呉服元町・柳町の4核を中心として、街なかを人々が回遊できる方策としてのわいわい！！コンテナ2管理事業、新馬場通り活性化事業、遊休不動産活用促進事業を実施するとともに、まちゼミの開催に係る経費の一部を助成し、中心市街地の活性化を図る。				
事業の対象者	市民、来街者等				
令和5年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・わいわい！！コンテナ2管理事業 [開館日数] 306日間 [来館者数] 62,771人 ・遊休不動産活用促進事業 [街なか空き店舗・出店相談室] 相談対応数：72件、活用物件数：12件 [さが街なか空き店舗見学会] 開催回数：6回、見学店舗数：延べ42か所、参加者数：延べ37人 [遊休不動産活用促進利子助成] 助成件数：9件、認定件数：6件 ・まちゼミ事業 [参加店舗数] 19店舗 [開催講座数] 26講座 [受講者数] 259人 ・イベント垂れ幕設置件数：12件 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	21,587	20,945	20,767	24,550	
うち佐賀市の負担額	19,137	17,146	18,217	23,125	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
賑わいあふれる中心市街地の活性化に満足している市民の割合						%
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
28.4	29.5	31.5	33.5	35.5		
	31.9	33.4	34.2			



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	遊休不動産にかかる相談支援体制の充実による物件活用の実績が積み重なってきたことにより、街なかの賑わいの創出への期待が高まり、満足度の向上につながった。



成果目標達成に向けた対応策等
街なかの遊休不動産の活用は、引き続き相談支援体制の充実に努め、民間主導により新たな価値を創出していく。また、街なかに訪れるきっかけづくりとしてのまちゼミやイベント幕の設置など、仕掛けづくりの充実を図る。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

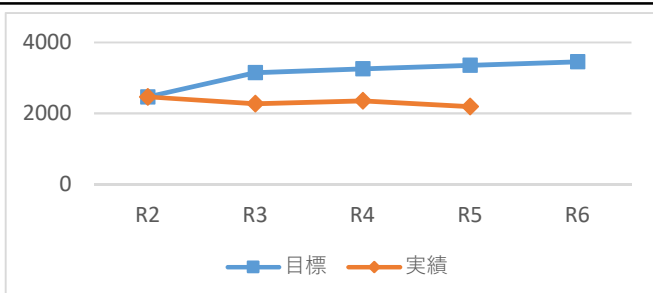
事務事業名	街なかふれあいプラザ管理運営事業	事業期間	平成 19 ~	年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 再生係	担当課長名	藤田 泰浩	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化		
	基本事業	街なか再生の基盤整備		

1 事務事業の基本情報

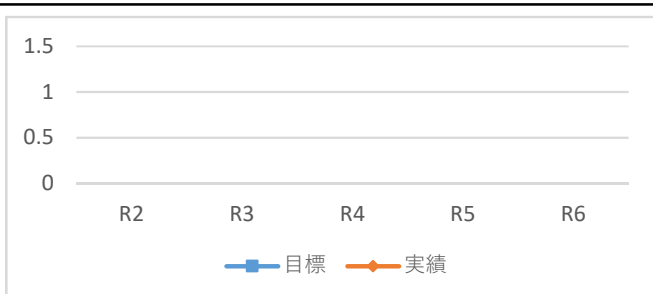
事業概要・目的	「街づくり基点施設」であるエスプラッツの街なかふれあいプラザ（1、2階）について、指定管理者を選定し、施設管理、テナント誘致及び集客力向上に取り組むとともに、老朽化した館内設備を改修し、施設の利便性を向上させることによって、中心市街地居住者及びオフィスワーカー等の利便性の向上や、新たな来街者の創出を図り、中心市街地の活性化に資する。				
事業の対象者	市民、来街者等				
令和5年度主な活動実績	佐賀市街なかふれあいプラザの管理運営を行うとともに、指定管理者と共に様々なイベントに取り組み、エスプラッツの賑わい創出を行った。 ・令和5年度街なかふれあいプラザ入場者数：753,757人（対前年度比5.9%減） ・指定管理者：株式会社ミズ				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	57,237	57,363	69,051	67,000	
うち佐賀市の負担額	57,237	57,363	69,051	67,000	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
街なかふれあいプラザの1日平均利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,464	3,150 2,276	3,250 2,357	3,350 2,190	3,450		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	前年度に比べ利用者数は減少しており、エスプラッツ1階フロアの一部が空き区画となっていた等の理由により、目標値を下回った。



成果目標達成に向けた対応策等
利用者数の増加に向けて、指定管理者と連携しながら、管理運営への利用者の意見の反映、施設内設備の計画的な改修による利便性の向上、中心市街地で実施される他の取組と連携した事業展開を図っていく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	文化交流プラザ管理運営事業	事業期間	平成 19 ~ 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 再生係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	街なか再生の基盤整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	「街づくり基点施設」であるエスプラッツの文化交流プラザ（3階）について、指定管理者を選定し、施設管理及び集客力向上に取り組むとともに、耐用年数を経過した機器等について計画的に更新を行うことで、中心市街地居住者等の利便性の向上や、新たな来街者の創出を図り、中心市街地の活性化に資する。				
事業の対象者	市民、来街者等				
令和5年度 主な活動実績	佐賀市文化交流プラザの管理運営を行うとともに、指定管理者と共に様々なイベントに取り組み、エスプラッツの賑わい創出を行った。 ・令和5年度交流センター入場者数：41,463人（対前年度比40.1%増） ・指定管理者：株式会社佐賀新聞文化センター ・修繕等 舞台吊物昇降装置、音響制御ユニット、ダイナミックマイクロホン、CDプレイヤー 等)				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	74,399	70,078	72,569	72,731	
うち佐賀市の負担額	60,695	56,442	62,756	62,917	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
文化交流プラザの1日平均利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
60	140 70	160 82	180 115	200		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	前年度に比べ利用者数は大幅に増加したものの、コロナ以前の水準に戻りつつあるが、コロナ以前の水準に戻る過渡期にあり、目標値を下回った。

成果目標達成に向けた対応策等

利用者数の増加に向け、指定管理者と連携し、施設利用者の分析を行い、老朽化した施設設備の計画的な更新を図るなど、利便性の向上を図るとともに、広報の充実に努め、利用者の獲得を図っていく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀商工ビル転貸フロア等管理運営事業	事業期間	平成 25 ~ 令和 10 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 再生係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	街なか再生の基盤整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀商工ビルの一部フロアを市が事業者からリースして、旧商工会館のテナントや公共公益的団体等への転貸し、施設の管理運営を行うことによって、勤務者や利用者等が中心市街地を日常的に訪れ、賑わう状況を創出する。				
事業の対象者	佐賀商工ビル入居者及び関連団体				
令和5年度主な活動実績	佐賀商工ビルにおいて、市がリースする転貸フロアの管理運営を行った。 ・転貸フロアの入居者数：21団体 ・転貸フロアの占有面積：692坪				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	106,650	101,522	101,474	101,447	
うち佐賀市の負担額	37,287	36,530	35,743	36,501	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
来館者数						人
R2 実績	R3 目標実績	R4 目標実績	R5 目標実績	R6 目標実績		
372,191	430,400 308,814	438,600 338,587	446,800 398,959	455,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標実績	R4 目標実績	R5 目標実績	R6 目標実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	生活様式の変化（テレワーク、リモート会議の減少等）により、来館者数は前年度に引き続き増加し、目標値は概ね達成できた。



成果目標達成に向けた対応策等
来館者数の増加に向けて、施設利用者や入居団体から意見聴取等を行い、管理組合と連携して、施設の利便性・快適性の向上に努める。